

リモートサポート&管理

PC・サーバー・Mac・タブレット・スマートフォン・組み込み端末
Windows・macOS・Android・iOS・CE

WiseMo ゲストモジュール

お使いの Mac コンピューターで



WiseMo ホストモジュール

お使いのリモートコンピューターまたは端末で



WiseMo は、PC やサーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット端末、その他の携帯型／無人端末間など、コンピューターや端末間のリモートコントロールを実現するソフトウェアを開発しています。WiseMo のソフトウェアを使用すれば、業務効率を大幅に向上させる強力なリモートコントロール機能と管理機能を利用可能です。これにより、時間とコストの両方を節約できます。

ゲストモジュール&ホストモジュール

WiseMo のゲストモジュールは、他のコンピューターや端末にリモートアクセスして制御を行うコンピューターまたは端末上で動作します。

WiseMo のホストモジュールは、認証されたユーザーがゲストモジュールを使用して安全にアクセスできるよう、コンピューターや端末上で動作します。

クラウドベースまたはオンプレミススペースの接続方法：

ゲストモジュールとホストモジュール間の接続は、次のいずれかの方法で確立されます：WiseMo の myCloud ソリューション（インターネットを経由）、または LAN/WAN ネットワークを直接利用した TCP/IP 接続です。

クラウド接続を利用する場合（WiseMo myCloud）、お使いのコンピューターまたは端末はインターネットに接続可能である必要があります。具体的には、固定回線、Wi-Fi、または携帯電話事業者のネットワーク（3G、4G、5G）などを介して接続できる状態であることが求められます。これにより、ゲストコンピューターとホストコンピューター/端末の双方でインターネットアクセスが可能な環境であれば、場所を問わず任意のコンピューターや端末にアクセスすることが可能になります。

オンプレミス環境で TCP/IP プロトコルを使用した LAN（Wi-Fi または有線）または WAN 接続を利用する場合、インターネットトラフィックを回避できるほか、携帯電話事業者からのデータ通信料金が発生する可能性もなくなります。ただし、ゲストモジュールからホストモジュールへの通信を可能にするため、ファイアウォールの設定を適切に管理する必要があります。

Mac コンピューター用のゲストアプリ

本ガイドでは、インストール、設定、使用方法、および Mac 用ゲストアプリのアンインストール方法について説明します - これは Mac コンピューター上で動作する WiseMo ホストモジュール用のリモートデスクトップゲストモジュールです。



WiseMo は、PC やサーバー、Mac、スマートフォン、タブレット、その他の携帯型／無人端末間で使用する、クラウドベースおよびオンプレミススペースの遠隔操作ソフトウェアを開発しています。当社のクロスプラットフォームソリューションは、商業・産業用途のリモートサポートおよび管理（RSM）市場を対象としています。

詳細については <https://its.tos.co.jp/products/wisemo/> をご覧ください。

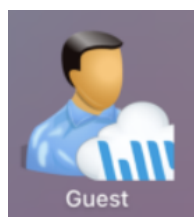
注意：このゲストガイドでは、少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがコンピューターまたは端末にインストールされており、myCloud 接続または TCP/IP 直接接続のいずれかでアクセス可能な状態であることを前提としています。ホストモジュールの設定方法については、当該モジュールのチュートリアルを参照してください。利用可能なドキュメントはこちらから確認できます：

<https://its.tos.co.jp/support/download/wisemo/>

1. Mac 用ゲストアプリのインストール

このアプリはお使いの Mac コンピューターにインストールされ、PC、サーバー、Mac コンピューター、スマートフォン、タブレット、その他の携帯型または無人端末にリモートアクセスして制御することが可能になります。このアプリを使用するには、macOS バージョン 10.15 (Catalina) 以降が必要です。

App Store からアプリをダウンロードしてください：



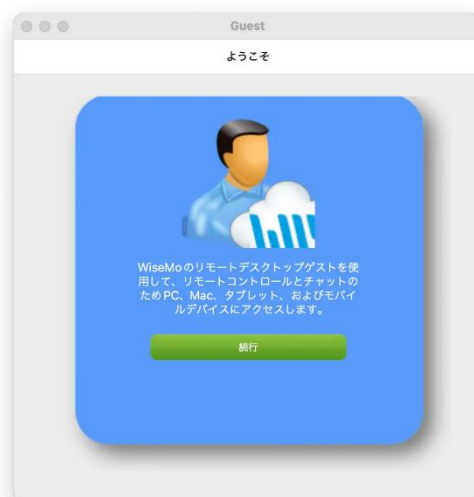
ダウンロード後、App Store から直接、または Launchpad などのアプリケーション一覧からゲストアイコンを見つけて、アプリを起動してください。

2. スタートアップウィザード

初めてアプリを起動すると、スタートアップウィザードが表示されます。このウィザードでは、myCloud を使用したインターネット経由の簡単な接続方法について説明します。すでに myCloud ドメインにアクセス権をお持ちの場合は、特定の myCloud ドメインを事前に設定することが可能です。また、インターネット経由での簡単な接続を試してみたい場合には、トライアル用の myCloud ドメインを作成するためのリンクも提供されます。

もし最初にローカルネットワーク上でゲスト機能のみを使用したい場合は、「続行」ボタンを押せばゲストのユーザーインターフェースに移動します。その後、ユーザーインターフェースから直接 myCloud ドメインに簡単にログオンするか、ウィザードを再度実行して設定を行うことも可能です。

設定オプションは「オプション」タブで確認できます。このタブでは、リモートコンピューターや端末に接続する際に使用するデフォルトの接続プロパティを定義します。特定のコンピューターや端末に対する個別の接続プロパティは、「電話帳」タブもしくは「myCloud」タブから設定できます。



3. 「ゲスト」アプリの使用方法

少なくとも 1 つの WiseMo ホストモジュールがコンピューターまたは端末上で動作していることを前提としています。これにより、リモートデスクトップ制御セッションを正常に開始する準備が整います。

「ゲスト」アプリはタブ形式で構成されており、画面下部に表示されます：



タブは分割表示レイアウトを採用しています。

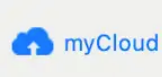


1 階層下にいる場合は、画面左上の「戻る」ボタンをクリックすると 1 階層上に移動できます。

「戻る」ボタンが表示されない場合、現在あなたは最上位階層にいます。

以下の各タブについて詳しく説明します。TCP/IP 経由で初めてリモートコントロール接続を行う場合（例えばローカル Wi-Fi や LAN に接続された別のコンピューターや端末に接続する場合）、3.2 簡易接続タブに直接移動してください。

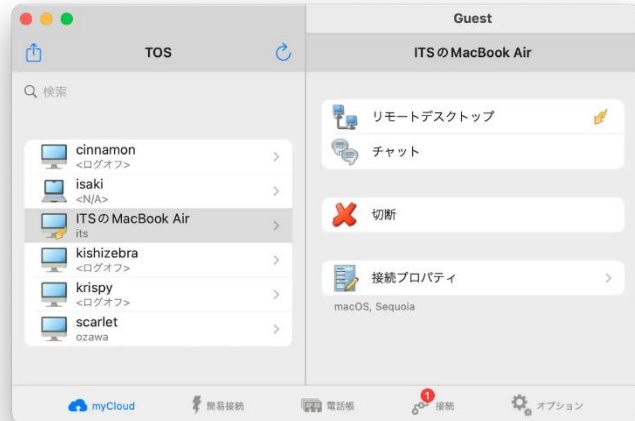
3.1 「myCloud」タブ



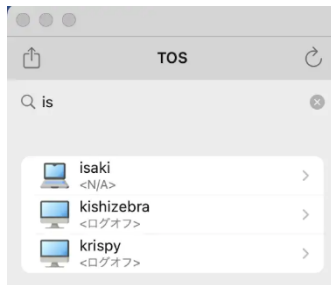
すでに myCloud ドメインにログインしている場合、myCloud 対応ホストコンピューターおよび端末の一覧が表示されます。

このタブから、アクセスしたいコンピューターや端末を選択して接続できます。リモートコントロール（リモートデスクトップ）やチャットセッション（チャット）を開始することも可能です。

（注：myCloud ドメインでホストモジュールを少なくとも 1 つ有効にしておく必要があります。そうしないと、myCloud タブに表示されるホストを確認できません）



既にコンピューターや端末に接続している場合、リスト上にその旨が表示されます。Windows および Mac コンピューターについては、そのコンピューターが利用可能かどうか（ログオフ状態かどうか）も確認できます。特定のコンピューターや端末を選択すると、その端末で動作しているオペレーティングシステムを確認できます。



検索フィールドに注目してください。オンライン状態のコンピューターおよび端末のリストには、検索フィールドに入力した内容に一致するエントリのみが表示されます。これは、ドメインで多数のホストを有効化している場合に特に便利な機能です。左記の例では、「is」という文字列を含むすべてのエントリが表示されています。

接続を行う際、接続はホストに定義されている接続プロパティを使用します。初期設定ではオプションタブで設定した内容が適用されますが、ホストごとに設定を変更することも可能です。接続プロパティでは、ログオン資格情報の自動入力、リモートデスクトップ画面の表示方法（全画面表示／実際のサイズ）など、さまざまな設定をカスタマイズできます。



オンライン状態の myCloud 対応コンピューターおよび端末のリストは、短時間の遅延を経て、コンピューターや端末がドメインに参加した時、または myCloud がホストのドメイン離脱やステータス変更を検知した時に自動的に更新されます。ホストリストは手動で更新することも可能です - リスト表示画面の右上にある更新ボタンを押せば更新されます。



すでにログオン済みの場合は、ログオフボタン（画面左上にあります）を使用してドメインから離脱できます。例えば、別のドメインにログオンしたい場合などに便利です。



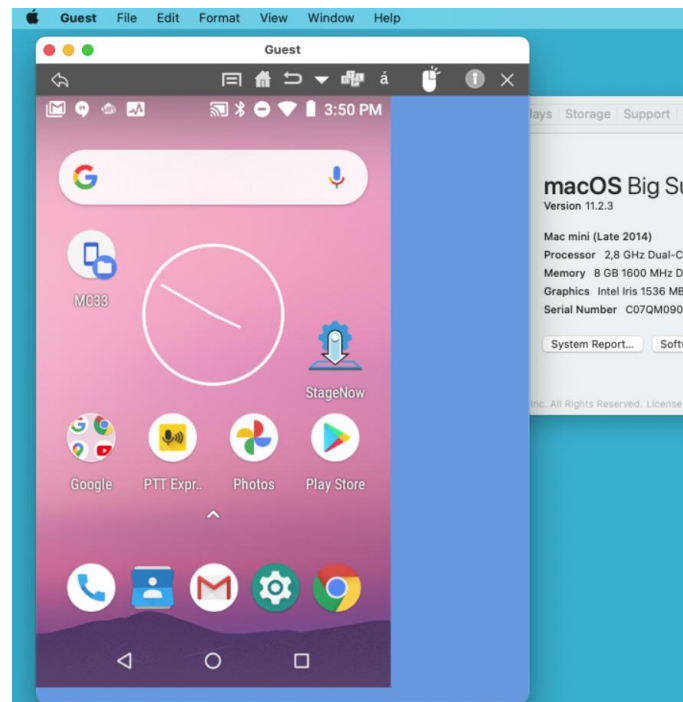
まだログオンしていない場合は、画面右上にある更新ボタンを押してください。これにより、ログオン画面が表示されます。

ログオンするには、myCloud のユーザーアカウントの資格情報を入力してください。これはメールアドレスとパスワードであり、myCloud ユーザーアカウントが二要素認証（2FA）で保護されている場合は、検証コードも必要になります。

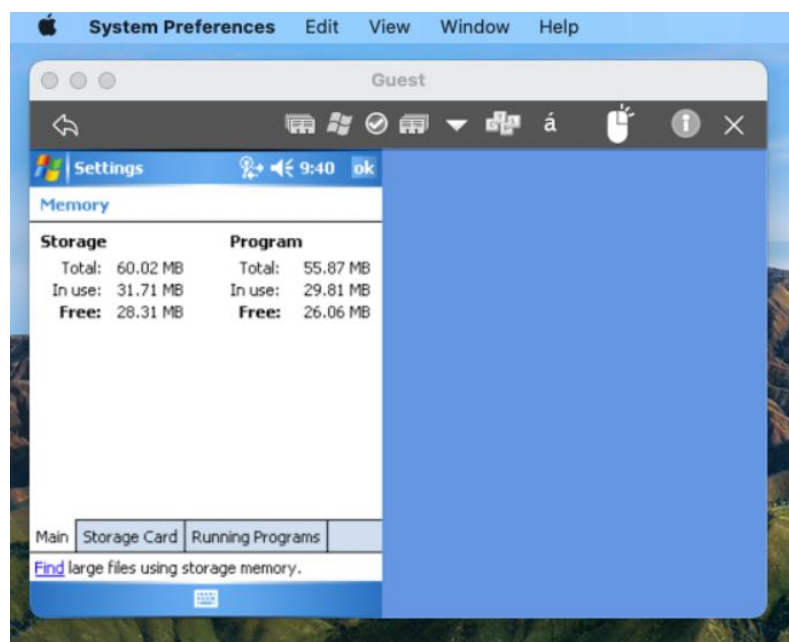


本プログラムは資格情報を記憶する機能を備えているため、ゲストアプリを起動するたびに資格情報を入力する必要はありません。ログオン時に「パスワードを記憶する」スイッチを使用してこの機能を制御してください。ただし、myCloud アカウントが 2FA で保護されている場合は、毎回ログオン時に検証コードを入力する必要があります。手動でログオフボタンを使用した場合、次回ログオン時には再度資格情報を入力する必要があります。

使用例：Mac コンピューターから Android 搭載 Zebra 端末をリモートデスクトップで操作する場合。
Zebra 端末の画面が Mac デスクトップ上のゲストウィンドウに表示されます。



使用例：Mac から Windows Mobile / CE 端末をリモートデスクトップで操作する場合



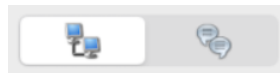
上部ツールバーにある特殊なボタンに注意してください。これらのボタンは、接続している端末/コンピューターの種類によって異なる場合があります。

3.2 「簡易接続」タブ

 **簡易接続** このタブを使用して、WiseMo ホストモジュールを搭載したコンピューターまたは端末に TCP/IP 経由で接続します。例えば、ゲストとホストが同じ LAN または Wi-Fi ネットワーク上にある場合など、遠隔ホストの IP アドレス（または DNS 名）を知っておく必要があり、TCP/IP 通信で到達可能でなければなりません。

アドレスを入力するだけで、接続ボタンを押してください。通信プロファイルとして TCP/IP が選択されていることを確認してください。

リモートデスクトップ接続またはチャットセッションのいずれかを選択できます：



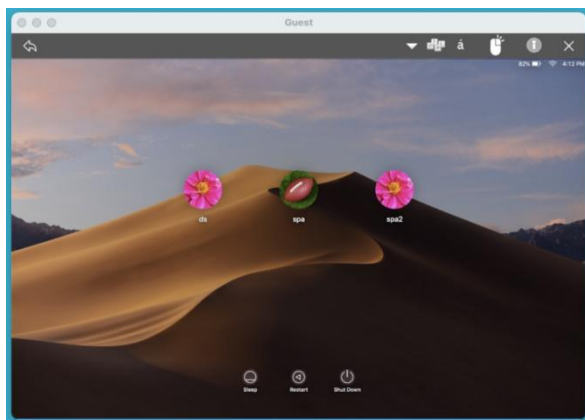
接続時には、「オプション」タブで定義されたデフォルトの接続プロパティが使用されます。個別の接続プロパティを定義したい場合は、保存できる電話帳タブをご利用ください。接続プロパティでは、ログオン資格情報の自動入力や、リモートデスクトップ画面の表示方法（全画面／実際のサイズ）など、多くのオプションを設定可能です。

注意：デフォルトでは、このプログラムはポート 1970 を使用します。対象コンピューターのホストモジュールが別のポートで待機するように設定されている場合は、IP アドレスの後に「ホスト ID」欄にそのポート番号を指定してください。例えば：10.204.1.3:1975 と指定します（1975 がポート番号です）。

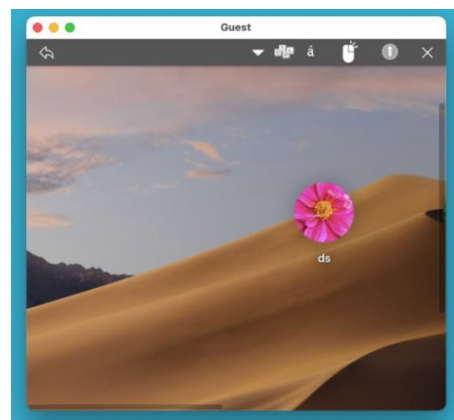
リンクの共有と招待リンクについて

特定のホストから送信された招待リンク（または myCloud ウェブインターフェースからの共有リンク）を受け取った場合、そのリンクを「ホスト ID」欄に貼り付けて「接続」ボタンを押すことで、ゲストユーザーはそのリンクが作成されたホストに myCloud 経由で接続できます - この際、あなたがその myCloud ドメインにログオンしている必要はありません（お使いのコンピューターはインターネットに接続されている必要があります）。

例：Mac から Mac へのリモートデスクトップ操作



全画面表示



ズームイン

詳細については [4](#) の「ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール」を参照してください。リモートデスクトップ操作セッション中に利用可能なオプションについて説明しています。

簡易接続履歴

これまでに使用したアドレスは簡易接続履歴リストに保存されるため、以前に接続したホストに再接続する際に便利です。簡易接続履歴リストにアクセスするには、ホスト ID フィールド内の「>」ボタンをクリックしてください。



使用するアドレスをクリックするだけで、再び簡易接続画面に戻ります。

また、ホストアドレスを電話帳に追加することも可能です。次のボタンを使用してください：



3.3 「電話帳」タブ



電話帳タブからは、事前に定義されたアドレスと接続プロパティを備えたホストエントリを作成できます。

リストからホストを選択し、リモートデスクトップまたはチャットをクリックして接続します。

電話帳リストでは、現在接続されているホストコンピュータを確認できます。ホストを選択して、セッションタイプを切り替えることができます（リモートデスクトップとチャット）、または接続を解除することも可能です。



画面左上にある+ボタンをクリックすると、電話帳に新しいホストを追加できます。

電話帳に登録した各ホストには、個別の接続プロパティを定義できるため、最適な接続環境を実現するための最適な設定を行うことができます。

最低限、説明とホスト ID の入力が必要です。ホスト ID は、遠隔地のホストコンピュータの IP アドレスまたは DNS 名を使用できます。その他の設定項目はデフォルト設定です（オプションタブで定義されているデフォルト設定）で、ホストエントリ作成時の設定となります。ホストエントリの設定は、作成時または後で変更することができ、この特定のホストへの接続に関する好みに合わせて調整することが可能です。

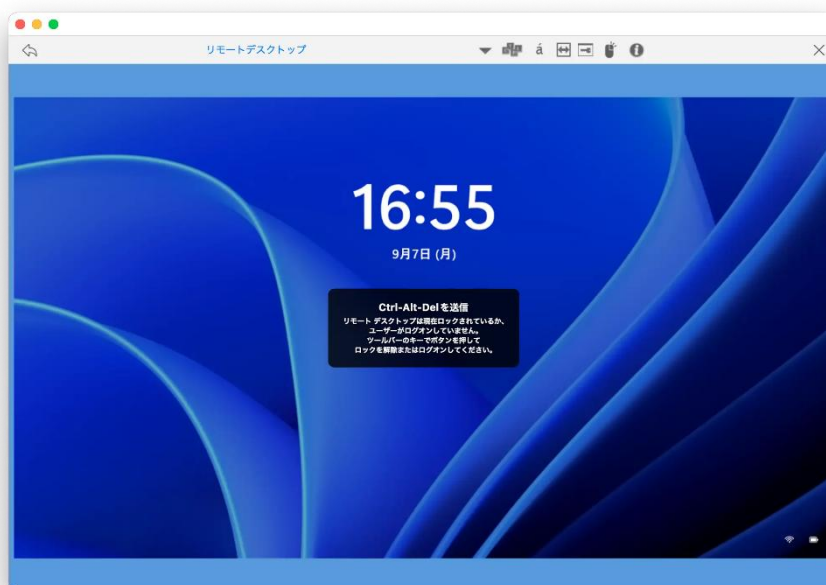


新規エントリを保存するには、詳細表示画面の左上にある「戻る」ボタンを押してください。



電話帳のホストエントリを削除するには、まず右上の「ゴミ箱」ボタンをクリックし、次に削除したいホストエントリの前にある赤いボタンをクリックした後、「削除」ボタンをクリックして確定します。電話帳エントリの削除が完了したら、「完了」を選択します。エントリを左にスワイプすることで、削除操作を表示させることもできます。

例：Mac 上でウィンドウ内に全画面表示された Windows 11 の画面です。Ctrl+Alt+Del を送信するよう促す表示と、ツールバーの特殊ボタンが表示されています。



3.4 「接続」タブ



「接続」タブには、myCloud タブ、簡易接続タブ、または電話帳タブのいずれかから確立された接続かどうかにかかわらず、現在すべての接続が一覧表示されます。

「接続」タブからは、既に接続されているホストコンピューターや端末間をシームレスに移動できます。

例えば、リモートデスクトップ接続などで既に接続されているホストに対して、チャットセッションを開始したり、その逆も可能です。

「接続」タブからは、ホストの接続を解除することもできます。

「接続」タブの名称には現在の接続数が含まれているため、簡単に接続状態を確認できます。



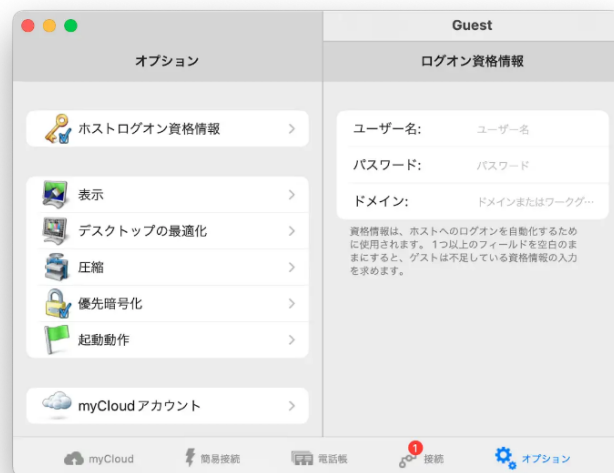
3.5 「オプション」タブ



「オプション」タブでは、リモートコンピューターや端末に接続する際に使用するデフォルトの接続プロパティを変更できます。このタブでは、その他のさまざまな設定項目や情報も確認可能です。

3.5.1 接続プロパティ

ここで設定した接続プロパティは、「簡易接続」タブからリモートホストコンピューターまたは端末に接続する際に使用されます。これらのプロパティは、電話帳に新規エントリを追加する際のデフォルト設定としても適用されます。また、ご自身の myCloud ドメインに登録されている各ホストに対してもデフォルト設定として使用されます。各設定項目の詳細については、以下の説明をご覧ください。



3.5.1.1 ホストログオン資格情報

ホストが認証に myCloud デバイスアクセス制御機能 (mDAC) を使用していない場合、これらの資格情報は事前に定義されたホストに送信され、ゲストアクセスの認証に使用されます。ユーザー名、パスワード、Windows ドメインまたはワークグループなどの資格情報は、ホスト側で定義された認証方法に応じて使用されます。ホスト側で設定された資格情報の値が間違っている場合や資格情報が不足している場合、ゲストはホストに接続する際に不足している資格情報の入力求められます。ホストが二要素認証 (2FA) で保護されている場合は、検証コードの入力も求められます。

3.5.1.2 表示設定

全画面表示サイズ：

このチェックボックスをオンにすると、ゲストのリモートコントロールウィンドウが最初にホストのデスクトップ全体を表示するようになります。

このチェックボックスをオフにすると、ゲストのリモートデスクトップは初期状態で実際のサイズで表示され、通常は画面の一部のみが表示されることになります。スクロールバーを使用して画面を移動してください。

画像品質：

画質を調整することでパフォーマンスを最適化できます。



「スライダー」

画面表示の品質と画面転送速度の優先順位を設定します。スライダーで圧縮方式とレベルを調整できます。中央位置がデフォルト設定で、プログレッシブ品質と組み合わせて使用するのに適しています。

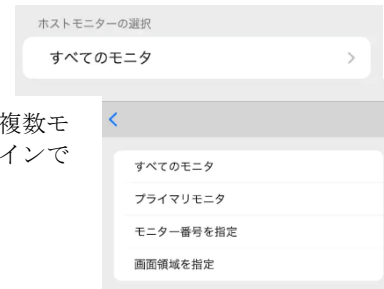
プログレッシブ品質切り替え機能

3種類の非可逆圧縮方式のいずれかを選択した場合、アイドル時間を利用して画質を最高レベルまで向上させます。

ホストモニターの選択：

ホストコンピューターに複数のモニターが接続されている場合、接続時に表示したいモニターを事前に選択できます。注意：複数モニター搭載のホストコンピューターに接続中であっても、オンラインでモニターを切り替えることが可能です。

接続時に表示したい画面の特定領域を指定することも可能です。



3.5.1.3 デスクトップ最適化設定

これらの設定は、接続時に遠隔地のコンピューター画面をどのように最適化するかを規定し、最適なパフォーマンスを確保するためのものです。

最適化：最適化処理を実行するかどうかを指定します。

すべての機能：利用可能なすべての最適化機能を使用するにはこの項目にチェックを入れてください。

使用したくない特定の最適化機能を無効にすることができます。利用可能な機能は以下の通りです：

壁紙：遠隔地の画面に表示される壁紙を削除します。

スクリーンセーバー：スクリーンセーバー機能を無効化します。

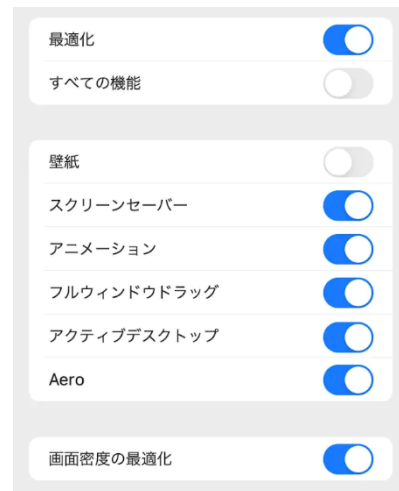
アニメーション：遠隔デスクトップが使用する可能性のある各種アニメーションの仕掛けを無効化します。

フルウィンドウドラッグ：ウィンドウをドラッグする際、ウィンドウの内容ではなく枠線のみが表示されます。

アクティブデスクトップ：古い Windows PC で使用されていたアクティブデスクトップ機能を無効化します。

Aero：Aero 機能（ウィンドウ枠の透過表示など）を無効化します。

画面密度の最適化：ホスト側で設定したズーム倍率が確実に反映されるようにします。



最適化が実際に使用されるかどうかは、ホスト側のオペレーティングシステムに依存します。

3.5.1.4 圧縮設定

圧縮レベルを「高」「低」、または圧縮を一切使用しない設定に指定できます。通常は自動設定を維持することが最適です。設定値は転送されるデータの圧縮率を決定します。高い圧縮率では CPU 負荷が増加しますが、転送するデータ量を削減できます。

3.5.1.5 推奨される暗号化方式

ホスト側の設定が最終的に使用可能な暗号化設定を決定します。ただし、ゲストユーザーとして、あなたは自身の希望を指定することができ、ホストが許可した場合にはその設定が適用されます。許可されない場合は、ホストが許可する範囲内の暗号化レベルが自動的に使用されます。

3.5.1.6 接続時のアクション

接続時のアクションとは、ホストシステムとの接続時に自動的に実行される操作設定のことです。ただし、この操作はホストシステムのセキュリティ設定で許可されている場合にのみ実行されます。

キーボードとマウスをロック：Windows PC を使用しているユーザーは、ゲストユーザーが接続されている間、キーボードとマウスを使用できなくなります。

画面を非表示：ホストシステムの Windows PC/Mac の画面が非表示になり、モニターを見ている第三者からデスクトップが視認できなくなります。

他のゲストの接続を一時停止：WiseMo 製品では、許可されている場合、複数のゲストユーザーが同一のホストシステムに接続可能です。この設定により、ユーザーが接続中は他のゲストユーザーが接続できないようにします。

3.5.2 myCloud アカウント

myCloud の資格情報を入力し、その有効性を確認することができます。

(URL 入力欄はそのままにしておいてください。)

「起動時にログオンする」を選択すると、ゲストアプリ起動時に自動的に myCloud ドメインへのログオンが行われます。ただし、この機能を使用するには、ログオン時に資格情報が保存されている必要があります。二要素認証が有効になっている場合、ログオン時に検証コードの入力が求められます。

「起動時に構成する」を選択すると、ゲストアプリ起動時にセットアップウィザードが起動します。

3.5.3 ローカルリソース

ゲスト端末とホスト端末間でクリップボードの内容を自動的に転送することが可能です。この機能を有効にする場合は、データの大量転送を誤って開始しないよう、上限を設定することをお勧めします。例えば、ホスト端末上でローカルにコピー/ペースト操作を行う場合などに注意が必要です。

ローカルリソース

以下のクリップボードを自動転送: 100 KB ☐

myCloud アカウント

ユーザー名fast@wisemo.co.jp

パスワード.....

URLデフォルトの場合はオプション

確認

起動時にログオンする

☒

起動時に構成する

☒

3.5.4 バージョン情報

「バージョン情報」画面では、プログラムおよびコンピューター自体に関する様々な情報を確認できます。これにはバージョン情報、ライセンス情報、著作権表示などが含まれます。

3.5.5 手順

「マウス／キーボード」の説明をお読みいただくと、さまざまなマウス操作やキー入力をリモートコンピューター／デバイスに送信する方法がわかります。

3.5.6 サポートログ

ゲストとホスト間の通信ログを低レベル設定で記録します。トラブルシューティング時に使用します。問題を報告する必要がある場合、WiseMo サポートチームからこのログファイルの作成と送付を依頼されることがあります。必ずコンピューターに設定済みのメールアカウントを用意し、サポートファイルの送信を承認した上で WiseMo サポートチームへ送付してください。

手順

マウスの左ボタンをクリックします。

マウスの右ボタンをクリック
ツールバーボタンを押してから、マウスの左ボタンをクリックします。

画面をパンするか、マウスホイールを使用
"オプション > 表示 > 全画面にサイズ変更"が無効になっている場合、リモートデスクトップビューをスクロールします。それ以外の場合は、垂直マウスホイールを送信します。

特殊キーまたは組み合わせ
特殊キーと組み合わせを送信します。

アクセント記号付きキー
キーボードから簡単にアクセスできない可能性のある á や è などのアクセント付きキーを送信します。

4. ホストコンピューターまたは端末のリモートコントロール

ホストコンピューターまたは端末に接続すると、ゲストのウィンドウ内にリモートデスクトップ画面またはその一部が表示されます。



次の操作が可能です：各種メニューとボタン（上部ツールバーからアクセス可能）。詳細は以下に記載しています。

ツールバーボタン

上部のツールバーには様々なボタンが配置されています。一部のボタンはゲストアプリケーション上で直接機能しますが、他のボタンは接続先のホストタイプに応じて異なる特殊な機能を持ちます。これらの特殊ボタンはリモートホスト側に送信され、そこで実行されます。



このボタンを押すと、直前に表示していた画面に戻ります。この操作ではセッションは切断されませんのでご注意ください。



このボタンを押してホストとのセッションを切断してください。



このボタンを押すと、特殊なマウス操作やキーボード操作に関する説明ページにアクセスできます。



このボタンを押すと、リモートホストコンピューターまたは端末に特定のキー入力や組み合わせを送信するための専用ボタンが表示された画面が表示されます。例えば矢印キーやページダウン/ページアップキーなどです。



このボタンを押すと、ホストコンピューター/端末の機能に応じて特定の操作を実行するためのコマンドメニュー（上記の画像参照）が表示されます。利用可能な機能には、マーカーモードの起動、キーボード/マウスのロック、ホストコンピューターの再起動、ロックまたはログオフ、クリップボードの送受信、画面のクリア（Windows/Mac）などがあります。**Windows** または **Mac** のホストコンピューターに複数のモニターが接続されている場合、さらに表示するモニターを選択でき、**Windows** では拡張デスクトップを表示することも可能です。



このボタンをクリックするとアクセント付き文字が表示される画面が表示されます。例えば「á」「ä」「ã」「}」などの文字を選択してリモートコンピューターに送信することができます。



右クリック操作を転送するには、このツールバーボタンを押し、そのまま物理マウスの左ボタンをクリックしてください。



Windows 搭載コンピュータで実行可能な特殊ボタンです。コンピュータのロックや、Windows 環境で頻繁に必要な **Ctrl+Alt+Del** キーの組み合わせ操作を実行できます。



特殊ボタンを操作可能なリモート **Android** ホスト端末です。



特殊ボタンを操作可能なリモート **Win Mobile/CE** ホスト端末です。

マウス

ホストコンピュータのリモートデスクトップ操作時、ゲスト側のマウスポインターは動的に変化し、リモートホストコンピュータ上での表示状態を正確に反映します。

キーボードとマウス操作ガイド

ゲストオプションタブから、またはリモートコントロールウィンドウから、常に以下のキーボードとマウス操作ガイドを参照できます。

 マウスの左ボタンをクリック マウスの左ボタンをクリックします。	 Windows コマンド "コンピュータのロック"へのクイックアクセスと"Ctrl-Alt-Del"を送信します。
 マウスの右ボタンをクリック ツールバーボタンを押してから、マウスの左ボタンをクリックします。	 Android のボタン "戻る", "メニュー"そして"ホーム"を送信するクイックアクセスです。
 画面をパンするか、マウスホイールを使用 "オプション > 表示 > 全画面にサイズ変更"が無効になっている場合、リモートデスクトップビューをスクロールします。それ以外の場合は、垂直マウスホイールを送信します。	 Windows mobile/CE のボタン 例えば、"呼び出し", "切断", "Ok", "左メニュー"そして"右メニュー"を送信するクイックアクセスです。
 特殊キーまたは組み合わせ 特殊キーと組み合わせを送信します。	
 アクセント記号付きキー キーボードから簡単にアクセスできない可能性のある á や ñ などのアクセント付きキーを送信します。	
 コマンド ホストのコマンド一覧です。内容は、ホストの権限と状態によって異なります。	

ポップアップ画面

ホストコンピュータや端末に接続する際、ホスト側の設定によっては、パスワード資格情報を入力したりホスト側で待機しているユーザーからアクセス許可または拒否を受ける必要があります。

ホストが二要素認証（2FA）で保護されている場合、検証コードの入力も求められます。



同じホストに接続している複数のゲストユーザー

複数の **WiseMo** ゲストモジュールユーザーが同時に同じホストに接続することが可能です（ホスト側が許可している場合）。これにより、複数のユーザーが単一のリモートデスクトップ上で同時に操作状況を確認できます。

すべてのゲストユーザーは画面を閲覧できますが、キーボード/マウス/入力操作の制御権を持てるのは 1 人のゲストユーザーのみです。最初に接続したゲストユーザーが最初に入力操作の制御権を取得します。

任意のゲストユーザーは、マウスクリックなどの入力操作をホスト側に転送することで、入力操作の制御権を取得できます。この操作が行われると、「入力操作が割り当てられました」という通知が表示され、それ以降の入力操作はすべてホスト側で実行されます。入力操作の制御権を持っていたゲストユーザーには、「ホストによって入力操作が取り消されました」という通知が届きます。

5. 共有リンクと招待リンク

送信された招待リンク（特定のホストから）または共有リンク（myCloud ウェブインターフェースから）を受け取った場合、そのリンクをホスト ID 入力欄に貼り付けてください（簡易接続タブ内に表示されます）。次に「接続」ボタンを押します。ゲストは myCloud を介して、リンクが作成されたホストに接続します。この際、あなたが myCloud ドメインにログオンしている必要はありません。この機能を利用するには、お使いのコンピューターがインターネットに接続されている必要があります。

6. ゲストアプリのアンインストール方法

ゲストアプリのアンインストールは、通常お使いのコンピューターでアプリをアンインストールするのと同じ方法で行います。例えば、「/Applications」フォルダーを開き、右クリックして「ゴミ箱に移動」を選択してください。

一部のアプリケーションデータは残ります。例えば、設定済みの電話帳データなどは、ゲストアプリをより新しいビルドにアップグレードする場合などに便利です。これらのファイルは以下のフォルダーから削除できます：

/Users/「ユーザー名」/Library/Containers/Guest/Data/Documents

「ユーザー名」の部分は、実際に Mac コンピューターにログオンする際に使用しているユーザー名に置き換えてください。

7. ゲストアプリのライセンス情報

ゲストモジュール（バージョン 20）には、すべての Mac コンピューターで無料の永続ライセンスが付属しています。

ゲストモジュールからは、正規にライセンス認証された WiseMo ホストモジュールに接続することができます。

8. 用語解説

コンピューター - ゲストモジュールまたはホストモジュールがサポートするオペレーティングシステムを実行するあらゆるサーバー、ワークステーション、デスクトップ PC、ノート PC を指します。

端末 - ゲストモジュールまたはホストモジュールがサポートするオペレーティングシステムを実行するスマートフォン、タブレット、セットトップボックス、スキャナー、その他の携帯型または無人操作端末を指します。

ゲスト - ゲストモジュールがインストールされたコンピューターまたは端末（例：PC、Mac、iPad、iPhone、Android 端末、または対応ブラウザから起動する場合）。ゲストモジュールを使用することで、ユーザーはホストモジュールが動作している別の端末やコンピューターを遠隔操作することが可能です。

ホスト - ゲストモジュールから遠隔操作される対象のコンピューターまたは端末にインストールされるモジュールです。具体的には PC、Mac、スマートフォン、タブレット、セットトップボックスなど、対応オペレーティングシステムを実行するあらゆる種類の端末が該当します。

ホスト構成マネージャー - 別名「ホストマネージャー」または「モバイルホストマネージャー」。WiseMo ホストアプリケーションの設定に使用するツールです。Windows デスクトップコンピューターにインストールされ、端末を PC の USB ポートに接続した際にホストサービスまたは端末と通信を行います。

スキン - 端末のリモート制御を行うためのグラフィカルユーザーインターフェースで、Windows デスクトップコンピューターから操作する場合に使用します。通常、このインターフェースは操作対象の実際の端末とほぼ

完全に一致するグラフィック表示となっています。スキン上のボタンは「生きている」状態で、実際のボタンと同じ操作を模倣します。つまり、スキン上のボタンのいずれかをクリックすると、実際の端末上で同じ操作が実行されるのです。

通信プロファイル – ゲストモジュールとホストモジュール間の通信に使用するプロトコル設定です。主な通信方式として次の 2 種類があります：TCP/IP 方式と myCloud 方式です。ゲストからホストへ接続する前に、使用する通信プロファイルをゲスト側で指定する必要があります。

myCloud – 通信プロファイルの一種です。myCloud 通信はインターネットベースのプロトコルで、ファイアウォールやプロキシ、NAT 設定されたネットワークを介した接続を可能にします。これは WiseMo 社の myCloud サブスクリプションベースサービスの一部として提供されており、コンピューターや端末間のリモートコントロール接続を容易にします。

mDAC – myCloud デバイスアクセス制御機能です。どのユーザーがどのコンピューターや端末で何を実行できるかを一元的に定義・管理します。